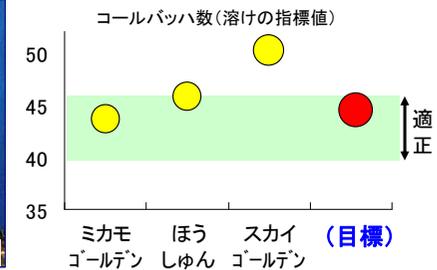


◆ 縞萎縮病に強く、麦芽の溶けが適正なビール大麦の育成

(2011～2013年度)

共同研究機関：栃木県農業試験場(中核機関)、福岡県農業総合試験場、サッポロビール株式会社、アサヒビール株式会社、
(独)農業・食品産業技術総合研究機構(作物研究所)
普及支援組織：栃木県経営技術課、福岡県経営技術支援課

研究概要：縞萎縮病抵抗性、多収で各種農業特性及び麦芽品質の優れる温暖地、暖地に適したビール大麦品種を育成する。また、製麦特性の評価を行いビール原料として特性を早期に把握するとともに、栽培特性を調査し品種特性が最大限発揮でき安定した収量と品質が実現する栽培法を開発し、栽培マニュアル等を作成して、生産現場における普及やビール原料としての使用を支援する。これらのことにより、新品種の迅速な普及と使用を図る。



課題提案者の感想： 産学官連携コーディネーターの支援に対して



栃木県
農業試験場
五月女 室長

競争的資金の説明会でコーディネーターの存在を知り、支援を依頼しました。コーディネーターさんには、行政を含めた関係機関との連携の仕組みについて助言を頂くとともに、第三者の視点から課題の目標設定や申請書の表現振り等について適切なコメントを頂きました。

面接審査に際してもプレゼンテーションの内容、構成について事細かに助言を頂き、サポートして頂きました。

競争的資金への申請は初めてのことでしたが、このようなコーディネーターさんによる適切な支援が、今回の採択につながったと感じています。